

☆放課後子ども教室☆

4月に入りました。農家さんのおうちでは、ビニールハウスを建てたり、種まきの準備をしたり、シーズンの到来だという話を耳にしました。しかし、今年の春はマイペースなのんびり屋さんのように、雪が降って積もったり、冷たい北風が通り抜けたかと思えば、上着を着ていると汗をかきような暖かさになったりと、ずいぶん振り回されています。ポカポカとした柔らかい春の日差しが待ち遠しいです。

新入学の1年生の姿はとても初々しく、背中に光るランドセルが大きくまぶしく見えました。新学期も始まり、新しい学年に上がった子どもたち。4年生は活動日も変わり、高学年の活動に仲間入り。5・6年生の先輩としての頑張りに期待です。新1年生は5月のゴールデンウィーク明けからの参加となるため、それまで低学年の活動日は、2・3年生のみでの活動となります。新しい学年、新しいメンバーになって始まる1学期は、子どもたち同士の関係性、スタッフとの関わり方など、色々なことを試しながら子どもたちが場の雰囲気をつかんでいく様子が見えてきます。高学年では、遊びの中でみんなの意見を集約するなど、リーダーシップを発揮できる子の動きが見えてきました。逆に反抗期にもさしかかり、だれに対してもツツツツした態度をとってしまうことや、自分の中で感情と感情がぶつかっているような様子も感じます。低学年では、活動日の最高学年となった3年生がとてもはりきって下の学年のめんどろを見てくれています。1年生が入ってくることも楽しみにしているようです。2年生はまだ一番下の学年で甘えていたいような気持ちと、先輩になるうれしさとが心の中で混ざっているように感じました。いろいろな人との関わりから、相手の気持ち、自分の気持ちを大切に、少しずつ心も体も成長してくれることを願っています。

子どもたちが春休みの間を利用して、スタッフ間でH28年度放課後子ども教室の活動についてふり返り（反省会）を行ないました。年間約170回の活動に対し、参加者数は延べ3,456名。放課後子ども教室への登録率、参加率、参加実数ともに例年と大きな変動はありませんでしたが、プログラム内容の精査をし、より子どもたちに興味を持ってもらえるような企画を考えていきたいと思えます。

なお、4月10日に行った学校林での活動において児童1名を迷子にしまうという事故が発生しました。これは基本的な安全管理に原因があり、徹底した安全管理の見直しを行うため一時放課後子ども教室を休止しております。楽しみにしていた子どもたちや保護者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしております。今後は、安全管理の徹底を最優先とし、限られた範囲の中であっても、可能な限り子どもたちの声を尊重しながら、活動場所・遊び方を工夫していきたいと思えます。保護者の皆さま、そして、学校や地域とも積極的に連携を図り、子どもたちが安全に、みんなで生き生きと楽しく遊べる場づくりを目指してまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

